

新高岡駅（仮称）周辺地区

（一期）

（富山県高岡市）

- 計 画 期 間 平成 20 年度～平成 24 年度
- 面 積 520 h a
- 交付対象事業費 4,376.9 百万円
- 市人口 166,641 人

ポイント 平成 26 年度の北陸新幹線開業や東海北陸自動車道の全線開通、能越自動車道の更なる延伸を活かした広域交流の推進

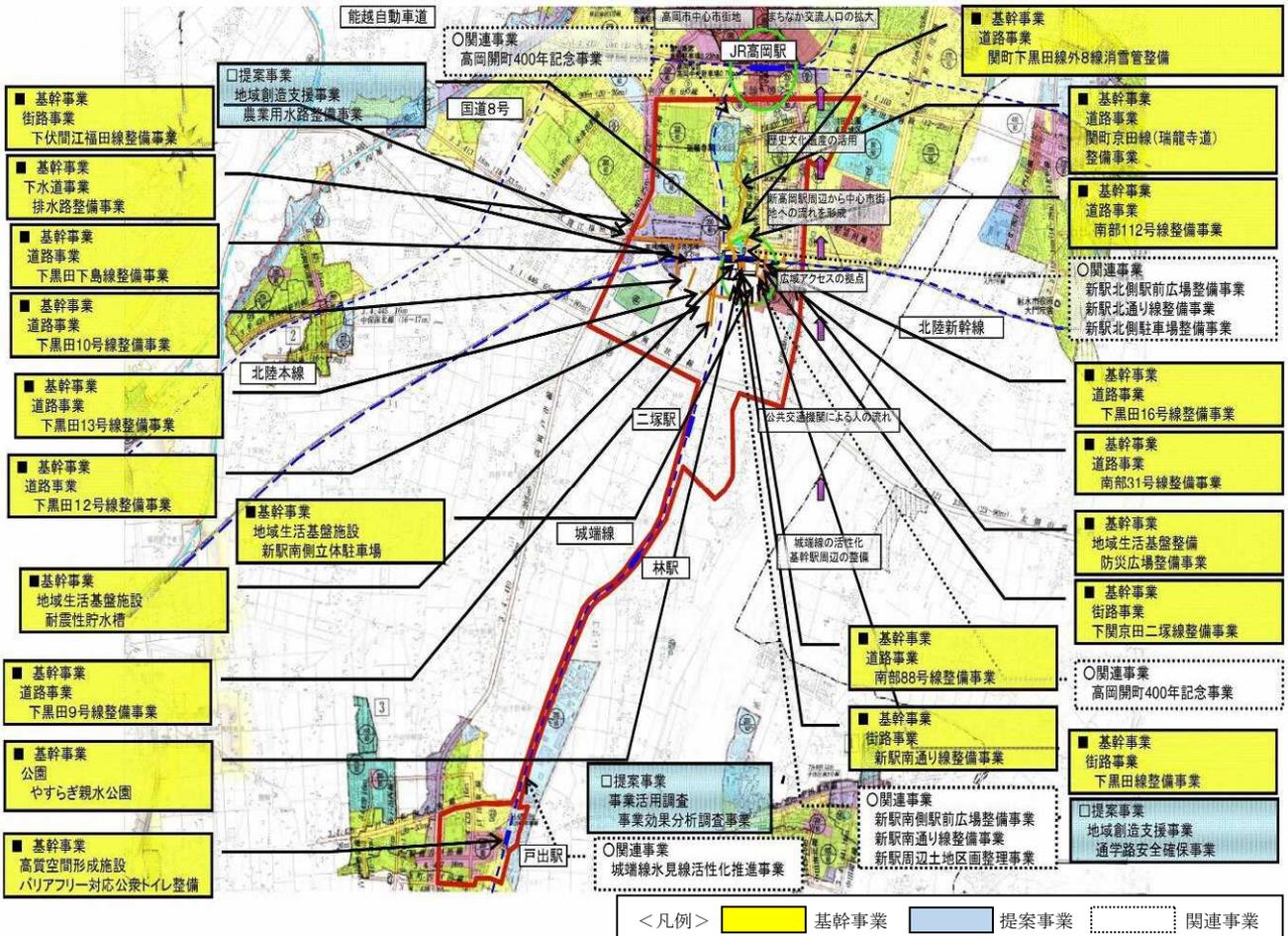
地区概要 新高岡駅周辺における交通結節機能の強化や、既存交流施設等を活用し、ふれあいと交流を促進させるまちづくりを進めるとともに、本地区への来訪者を中心市街地に促すことで「まちなか交流人口の拡大」を図る。

目 標 新たな時代に向けた県西部地域並びに飛騨・能登地域のふれあいと交流のまちづくり

指 標 道路整備によるアクセス性の向上や開町 400 年事業、世界文化遺産登録に向けた取り組みによる、周辺施設の利用向上等を目標とした。

項 目	現況値	(年)	→	評価値	(年)
主要施設の利用者数	714,000 人	H18	→	742,136 人	H24
瑞龍寺の来訪者数	165,000 人	H18	→	189,099 人	H24
下関京田線の歩行者数	1,411 人/日	H18	→	1,910 人/日	H24

事業内容 基幹事業（4,277.1 百万円） → 道路（幅員 6m～27m、延長 4,865m）、公園（6,200 m²）、防災広場（950 m²）、排水路整備（260m）、バリアフリー対応公衆トイレ整備（1 箇所）、耐震性貯水槽、新駅南側立体駐車場
提案事業（99.8 百万円） → 農業用水路整備事業、通学路安全確保事業、事業効果分析調査事業



地区の現況と課題

JR高岡駅の南側に位置し、北陸新幹線新高岡駅周辺の地区である。周辺の主要道路として、北側に(都)下伏間江福田線、南側に(都)高岡環状南線が通っている地区である。

また、(都)下伏間江福田線及び(市)駅南1丁目二塚線沿いの既成市街地では、大型ショッピングセンターをはじめとした、商業施設や業務施設が多く立地している。また、レクリエーション施設、コンベンション等産業交流施設、病院などの施設も立地しており、その他は水田等の農地が主体となっている。

今後は北陸新幹線開業や東北北陸自動車道の全線開通、能越自動車道の更なる延伸を活かした広域交流の推進を行うとともに、広域的な交流拠点として、既存の交流施設等の有効活用や、中心市街地活性化のためのまちなかにおける交流人口の拡大、観光資源を活用したまちなかの回遊性の創出を図る必要がある。



▲新高岡駅周辺のイメージパース

提案事業の特徴

農業用水路整備事業

利便性が高く、機能的なまちづくりを進めるため、公共交通機関への乗換え利便性などが良い、交通結節性が高くコンパクトで機能的な駅周辺整備を行うこととしており、そのため用水路を移設・暗渠化する。

通学路安全確保事業

エリア内における、歩行空間の安全性を高めるため、通学路を中心に安全性向上のための施設整備を実施する。

城端線新駅整備事業

新幹線新駅における交通結節機能の強化を図るため、城端線新駅を整備する。

事業効果分析調査事業

事業効果の分析を実施し、今後必要とされる事業や新たなまちづくりの課題、目標などの整理を行う。

計画策定プロセス

北陸新幹線新高岡駅（仮称）周辺まちづくり計画検討委員会

学識経験者、鉄道・公共交通関係者、経済団体、市民団体、関係自治体で構成する当委員会において、新高岡駅周辺のまちづくりについて、まちづくりの基本理念、周辺の土地利用、道路・施設の配置等を検討し、平成19年4月に「北陸新幹線新高岡駅（仮称）周辺まちづくり計画」を策定した。



▲新高岡駅周辺の状況（整備前）



▲新高岡駅周辺の状況（整備後）



▲委員会の開催状況